

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さぎ山記念公園					
(2)施設概要	①所在地 さいたま市緑区大字上野田362-1 ②施設の設置目的 さいたま市民のサードプレイスとして緑あふれる公園を満喫して頂き、四季の草木の中で休憩し、散歩や遊具エリア、キャンプ場、修景つり池等を利用し触れることにより日常生活の疲れを癒し英気を養って頂く場とする。 ③施設の概要 1986年開園、開設面積43,455m2、主な施設(野外無料キャンプ場、修景施設、無料つり池、さぎ山記念館展示室、遊具広場)					
(3)指定管理者	さぎ山記念公園ネットワーク共同企業体					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～ 令和26年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和6年度18,680千円、令和7年度19,457千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数(キャンプ場) 6,193人(前年度6,427人) ・稼働率(利用者枠数 対:1日100名)29.6%(前年度30.7%) ◇業務実施状況 *施設維持管理業務 *キャンプ場利用受付業務 *業務仕様書及び事業計画書に則った諸業務 ②維持管理業務の状況 *保守管理業務 芝生広場、さぎ山記念館、キャンプ場、つり池等 *日常清掃業務 さぎ山記念館、キャンプ場、園内等 *定期清掃業務 さぎ山記念館、キャンプ場、園内等 *植栽管理業務 芝生広場、高中低木剪定、花壇等 ③その他の業務 *市民団体"さぎ山交流広場"の運営サポート:さぎ山記念館公園および記念館学習室利用等					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	305千円	(7千円)	人件費	7,000千円	(6,192千円)
	指定管理料	19,457千円	(18,680千円)	事務費	2,239千円	(2,514千円)
				施設管理費	17,607千円	(19,386千円)
	【自主事業】					
	収入	580千円	551千円	支出	75千円	4千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	9月から12月にかけて利用者アンケートを実施しました。清掃・維持管理・職員対応・全体評価等において、「ほぼ満足」「満足」とのご評価を約9割の利用者から頂きました。 キャンプ場の施設や利用方法についての要望が多く、トイレの洋式化を整備工事で計画をし、アウトドアグッズのレンタル品の充実を図る等、要望への対応を進めています。令和8年度10月リニューアルオープン時に整備予定。また、冬期のキャンプ場利用の希望もあるため、対応を検討していきます。					
(8)その他	・夏季7～8月に、園内の「せせらぎ水路」を活用し、親水コーナーとして開放。小さなお子さん、ご家族に喜んでいただきました。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
各種運営マニュアルの整備と運用	施設点検、施設利用マニュアル、苦情処理、行為許可、減免規定、電話対応マニュアル、情報セキュリティインシデント対応、拾得物対応をはじめ、危機管理等、運営管理上必要なマニュアルを作成し、従事するスタッフを含めて教育を徹底致しました。施設・遊具点検においては、各職員の個人差による点検の不備がないよう業務を均一化し、見逃しがないように安全対策に努めました。
地域コミュニティ活性化の拠点とする管理運営	さいたま市見沼田んぼ推進課所管の「さぎ山交流ひろば」との協働。さぎ山交流ひろばの市民団体によるさぎ山記念館・学習室の利用や、園内・キャンプ場の利用をはじめ、「秋フェス」等のイベントへの協力を行っています。また、近隣幼稚園・小学校の見学や遠足などを受け入れています。指定管理者からの積極的な働きかけを行い、更なる協力体制を図っていきたい。
親水施設(じゃぶじゃぶ池)の実施	従来のさらさら滝の濾過槽不具合により、新たな親水コーナーの運用を開始。せせらぎ水路の一部を利用し、子どもが水に親しめるように施し、7～8月の期間、運用を行った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」 ・キャンプ場(野外施設)の利用者は、前年度比約96%の結果となったが、状況としては、ゴールデンウィークや秋をはじめ多くの週末で満場となっており、利用の市民に親しまれている。平日も利用率を上げられるよう今後取り組みたいと考えます。 また、キャンプ場の受け入れ体制として、できるだけ利用者の要望に応え多数の方々から利用いただけるよう、利用日、利用時間、予約変更等は、臨機応変な対応を心がけた ・芝生広場は、遊びや憩いの場として、安全・平等に利用されるよう留意して運営を行った。幼稚園・保育園の遠足等で利用されることも多いため、犬の糞やキノコ、虫などの防御対策を行う、危険な遊び、占有する行為などには注意を払い、利用者に理解を促した。 「経費の削減」 建物やインフラが老朽化しているため、故障・不具合も多いが、経費の削減をすべく、植栽管理・修繕などをできる限り指定管理者職員で行った。また、備品・消耗品等の物品購入による支出を抑えるべく取り組んだ。 「適正な管理運営の確保」 管理運営マニュアル他、作成した各種業務マニュアルに基づき、職員が同一認識で業務にあたれる体制とした。日常点検、定期点検、法定点検等を適正に行い、適正な状態の施設維持管理に努めた。破損や不具合の際には、できる限り迅速に、適宜、修繕を行った。釣り池の浄化、花壇の整備等について、市民の声をいただくこともあり、不十分なところを今後改善していく所存です。
--

(2) さいたま市の評価(評価担当課:都市局みどり公園推進部南部公園整備課)

総合評価 (B) ※A～D 1 項目別の評価 ①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、キャンプ場の利用が前年度比約96%であるものの、ゴールデンウィークや秋季の週末を中心に高い利用状況が維持されており、市民に親しまれている施設運営がなされていると評価できる。また、利用日や時間、予約変更等について利用者ニーズに応じた柔軟な対応を行っている点は、市民サービスの向上に寄与している。芝生広場においても、安全かつ平等な利用確保のための環境整備やマナー啓発が適切に実施されており、特に幼児利用を意識した配慮は評価できる。一方で、釣り池については水質の悪化が見られ、魚が釣れにくい状況となっているなど、利用者満足度の低下していることから、原因分析を踏まえた水質改善への取組を積極的に進めることが望まれる。また、平日の利用促進についてもさらなる取組が期待される。 ②経費の削減については、施設や設備の老朽化に伴う修繕需要が高まる中、植栽管理や軽微な修繕を職員自ら実施するなど、経費抑制に向けた主体的な取組が認められ、全体としてコスト意識を持った運営が行われていると評価できる。 ③適正な管理運営の確保については、各種マニュアルに基づき職員間の認識共有を図りながら業務が遂行されており、日常点検・定期点検・法定点検を適切に実施している点は評価できる。さらに、破損や不具合への迅速な対応により施設の安全性確保に努めていることも認められる。一方で、釣り池の水質改善や花壇整備等について市民から意見が寄せられていることから、これらの課題に対する改善対応を着実に進め、より一層の管理水準向上を図ることが望まれる。 2 総合評価 キャンプ場の柔軟な受入対応の実施や利用者ニーズとの連携によるサービス向上の工夫があり、市が求める水準を満たしていることや、季節的な高利用を維持しつつ安全管理や経費抑制にも取り組んでいる点は評価できるが、平日利用促進や市民意見を踏まえた環境改善の更なる推進が期待されることから総合評価をBとした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、サービス水準の充実や、利用者の利便性向上に努めるとともに、適切な施設の維持管理及び安全対策を実施するよう指導していく。あわせて、平日の利用促進に向けた取組を強化するとともに、市民の意見を踏まえた釣り池の水質改善や花壇等の環境改善を着実に進め、さらなる満足度向上を図るよう求めていく。
--